事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年06月24日（木）

事務事業	救助活動事務	担当課	花園消防署	担当係	花園消防署	管理番号	4526
第2次総合計画 行政分野別		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
第2次総合計画 行政分野別 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	・消防法 ・消防組織法 ・消防力の整備指針 ・深谷市警防規程 ・高圧ガス保安法 ・鉄砲刀剣類所持等取締法				
第2次総合計画 行政分野別 中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
第2次総合計画 行政分野別 小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	火災、交通事故及び水難事故をはじめとする各種災害から迅速に人命を救うため、特殊な装備や資器材を備えた車両及び高度で専門的な知識と技術を身に付けた隊員を配備し、各種災害現場において迅速・確実かつ安全な救助活動を遂行する。
目的 ※何のために	市民の生命、身体及び財産を火災や各種災害から保護するとともに、被害の軽減を図ることを目的とする。
対象 ※誰・何を対象に	市民の生命、身体及び財産。
手段 ※どのように	複雑多様化する各種災害に対応するために、訓練、研修等を実施し技術、知識の向上を図るとともに、各種装備、資器材の点検、整備を実施し、常時使用可能な態勢を整えることで迅速な救助活動を遂行する。
成果 ※何を求めるか	各種災害現場における救助活動時間の短縮、年間計画に基づく訓練の実施及び各種装備資器材の点検、整備状況を把握する。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0

本事業の主な業務

- 救助活動等災害対応業務
- 救助資器材の維持管理業務
- 各種救助訓練の立案、調整、実施に関する業務
- 中高層建築物等の警防計画業務
- 管内における危険場所、箇所等の調査及び啓発
- 救助活動記録票、統計及び即報の作成事務
-
-
-
-
-
-

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	0
事業費	決算額	0	0	0	0	0	0
事業費 財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
事業費 財源内訳	県支出金	0	0	0	0	0	0
事業費 財源内訳	地方債	0	0	0	0	0	0
事業費 財源内訳	他特定財源	0	0	0	0	0	0
事業費 財源内訳	一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費	人件費相当試算 ※1	777,900	778,200	786,100	813,600	813,600	813,600
人件費		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		777,900	778,200	786,100	813,600	813,600	813,600

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	救助出場件数（暦年）	目標値	件							■
			実績値		45.00	74.00	55.00	59.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		救助出場件数のため目標値の設定に値しない。							
		出場件数									
■	活動指標２	訓練・研修回数	目標値	回	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00	32.00	□
			実績値		32.00	32.00	32.00	32.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年間訓練計画表に基づく訓練実施回数。（消防救助技術指導会訓練を除く。）							
		実施回数									
□	活動指標３	資器材点検実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		１００%の資器材点検を目標とする。							
		実施日／３６５日×１００									
■	成果指標１	資器材常時使用可能率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		車載されている全資器材の常時使用可能率。							
		使用可能数／全資器材×１００									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 出場件数については、平成３１年度より４件増加した。訓練・研修回数は、年度当初に策定した年間訓練計画に基づき計画的に実施した。資器材点検は装備品を含めて日常・週間・月例点検を計画どおりに実施した。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 車載している資器材は、救助隊が出場し救助活動を実施した事案はもとより、訓練時においても異常なく使用できたため、使用可能率は１００%を達成できた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明
		評価者　救助係長　町田敏之・野辺敏之

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	特殊部隊として、自隊の活動能力向上が必要であるとともに、災害時には他隊との連携が求められる。そのため、資器材及び人材を有効に活用した災害対応を目的とした訓練を中隊だけでなく、分署を含め実施していくことが必要である。
達成状況 及び その効果	特殊部隊としての訓練実施前に分署には配置していない資器材を貸し出すことで、取り扱いを含めた知識・技術の向上を図ることができた。その後の分署との合同訓練では、基本から応用まで段階的にステップアップした内容をスムーズに実施することができた。 その結果、災害対応時には中隊だけでなく分署とも連携のとれた活動を行うことができた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	救助活動事務	担当課	花園消防署	担当係	花園消防署	管理番号	4526

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

本事業は、市民の安全・安心を確保するうえで欠かすことのできない事業である。年間訓練計画に基づいた訓練や、自隊での訓練を年間を通じ実施し、隊員育成を図るとともに資機材の維持管理を行うことで組織力を強化、複雑多様化する災害に対し安全・確実・迅速に対応していく必要がある。

評価者	花園消防署長兼花園消防課長　江原正明

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

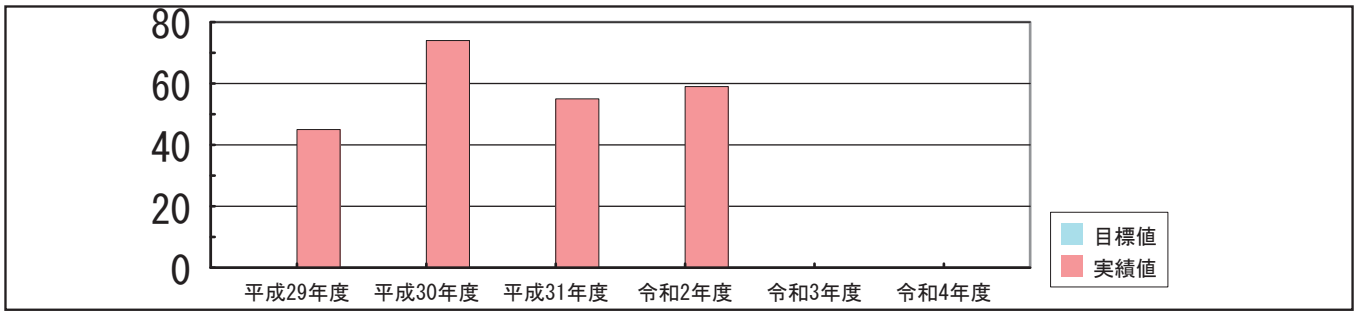
改善・改革案	新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない社会情勢を踏まえ、災害現場における新型コロナウイルスをはじめとした様々な感染症による職員への感染防止徹底を図り、感染者及び感染疑いである要救助者と接触した場合には、職場での集団感染を防ぐことが強く求められている。そこで、職員のさらなる意識高揚を図りながら、感染防止が徹底された現場活動をするための職場内研修等を行う必要がある。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

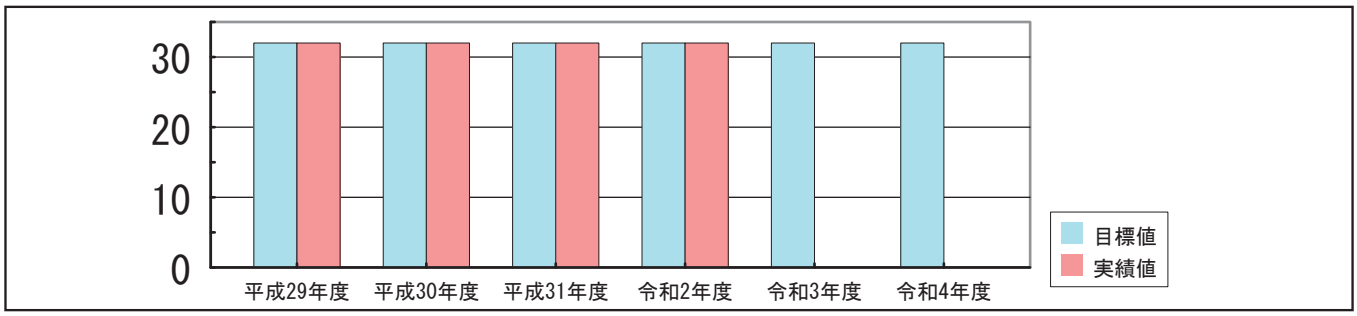
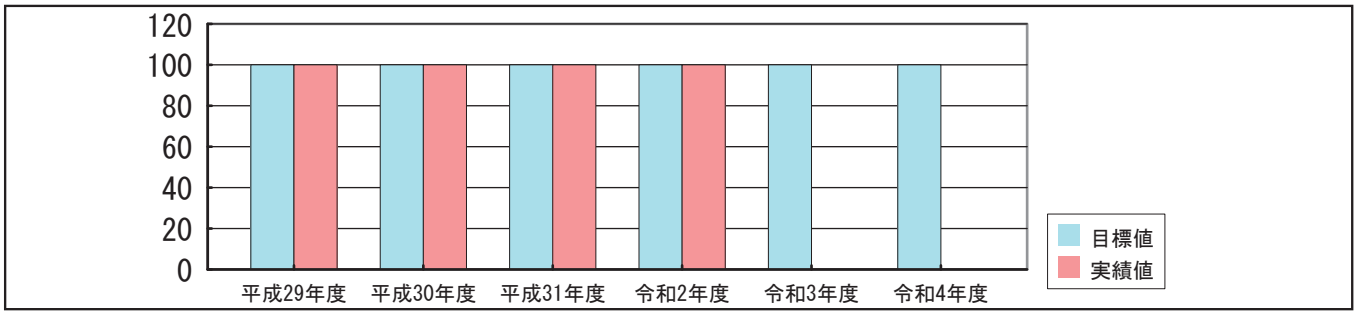
今後の課題	救助資器材の中には高額で特殊な仕様のものがあるため、経年劣化及び耐用年数を考慮した維持管理や更新計画の策定が必要である。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	救助出場件数（暦年）



区分	活動指標２	指標名	訓練・研修回数



区分	成果指標１	指標名	資器材常時使用可能率